

# ALPOLIC®

抗ウイルス / 抗菌 SIAA登録製品

## Clean



- アルポリック® 消臭・抗菌グレード
- アルポリック® 抗ウイルス・抗菌グレード
- アルポリック® 抗ウイルスグレード

SIAA認証を取得しています。

※グレードにより登録内容が異なります。



# Cleanな空間に ウイルスや菌に強い、内装向けアルポリック®

アルポリック®の優れた平滑性と軽量性、高剛性で割れにくいといった従来の特長はそのままに、表面塗装に抗ウイルス性能や消臭・抗菌性能を付与した内装向けアルポリック®です。

- 軽量性 デザイン性 安全性 加工性 耐水性 **抗ウイルス** 抗菌 消臭

## 抗ウイルス性能について Anti-Virus

- 短時間でウイルス低減効果 (約5分で99%以上低減)
- 消毒清掃もOK (次亜塩素酸ナトリウムやエタノールを用いた拭取り掃除後も性能を保持)

### 24時間後のウイルス数を比較

試験方法: ISO21702法 ウィルスA ※試験結果は保証値ではありません

99%以上低減

### 抗ウイルス性試験時の様子

未加工品 抗ウイルスグレード

※白い部分がウイルスに感染した細胞

## 抗菌性能について Antibacterial

- 黄色ブドウ球菌・大腸菌に効果あり
- 製品上の細菌の増殖を低減させる効果 (24時間で99%以上低減)
- 消毒清掃もOK (次亜塩素酸ナトリウムやエタノールを用いた拭取り掃除後も性能を保持)

### 24時間後の生菌数を比較

試験方法: JIS Z 2801法 ※試験結果は保証値ではありません

99%以上低減

### 抗菌性試験時の様子

未加工品 抗ウイルス抗菌グレード

グラム陽性菌A

※白い部分が細菌

## 消臭性能について Deodorizing

- アンモニア・硫化水素などの悪臭物質を吸着・低減 ※全ての臭気に低減効果があるわけではありません

### 「消臭・抗菌グレード」と「通常品」の消臭性能の比較

アンモニア減少率 (%)

試験サイクル数 (回)

消臭機能なし

消臭機能付き

臭気小 (低減)

※アンモニア初期濃度100ppm (各サイクル)、社団法人繊維評価技術協議会の定める方法にて試験 (検知管法)、1サイクル=24時間とし、各サイクル24時間経過時のアンモニア減少率を評価。上記は試験結果の一例であり、保証値ではありません。

## SIAA認証を取得しています。

SIAA：一般社団法人 抗菌製品技術協議会

製品上の特定ウイルスの数を減少させます。

SIAAマークは、ISO 21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

注意事項

- ・抗ウイルス加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- ・SIAAの安全性基準に適合しています。

SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

抗菌製品技術協議会 (以下、SIAA) が制定した抗菌のシンボルマークです。抗菌性・安全性・適切な表示、の3つの基準を満たした製品にSIAAマークが表示されます。

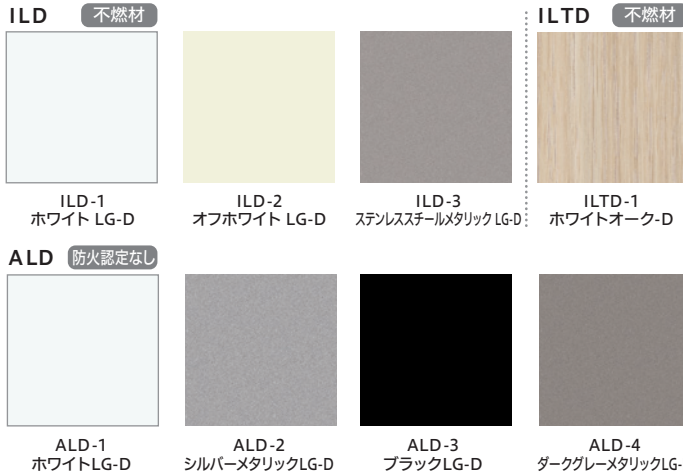
### ■ 想定される用途の一例

医療機関の内部、特に不特定多数の人が利用する待合空間、トイレや水廻り空間、省メンテナンスで清潔さを保ちたい畜産分野の各施設、ペットサロンやペット販売店、多様な働き方の変化に合わせたワークスペース...など

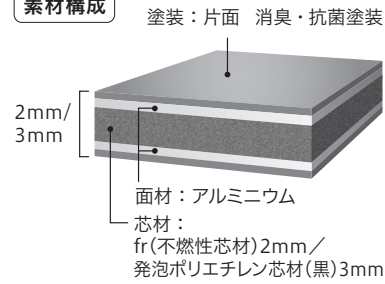


## アルポリック® 消臭・抗菌グレード

### カラーラインナップ



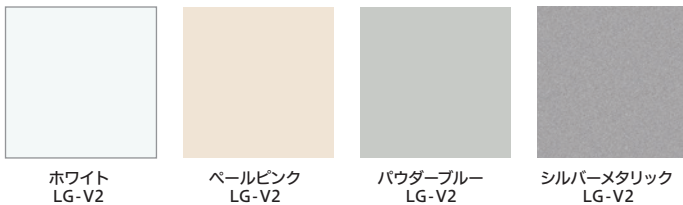
### 素材構成



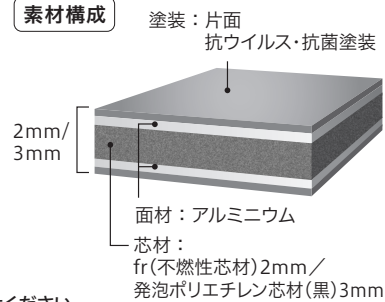
呼称	防火認定	カラー(在庫色)	板厚(mm)	サイズ(mm)	比重	重量(kg/枚)	重量(kg/m <sup>2</sup> )	仕上げ
ILD	不燃(NM-4813)	3色	2	910×2,440	1.95	8.66	3.9	片面塗装
ILTD	不燃(NM-4824)	1色						
ALD	なし	5色	3	1,220×2,440	0.76	6.85	2.3	
ALTD		1色						

## アルポリック® 抗ウイルス・抗菌グレード 受注生産品

### カラーラインナップ



### 素材構成

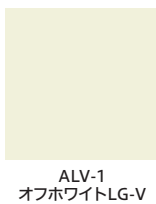


※アルポリック® 抗ウイルス・抗菌グレードは受注生産品です。生産ロットはお問い合わせください。

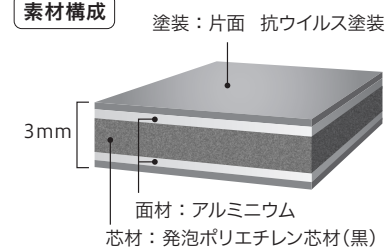
呼称	防火認定	カラー	板厚(mm)	サイズ(mm)	比重	重量(kg/枚)	重量(kg/m <sup>2</sup> )	仕上げ
ILV	不燃(NM-4813)	4色 ※	2	910×2,440	1.95	8.66	3.9	片面塗装
ALV	なし	4色 ※	3	1,220×2,440	0.76	6.85	2.3	

## アルポリック® 抗ウイルスグレード

### カラーラインナップ



### 素材構成






呼称	防火認定	カラー(在庫色)	板厚(mm)	サイズ(mm)	比重	重量(kg/枚)	重量(kg/m <sup>2</sup> )	仕上げ
ALV	なし	1色	3	1,220×2,440	0.76	6.85	2.3	片面塗装

■実際の製品と色目や柄目は若干異なります。色目や柄目は現物サンプルでご確認ください。現物のサンプルは、弊社宛にご請求ください。

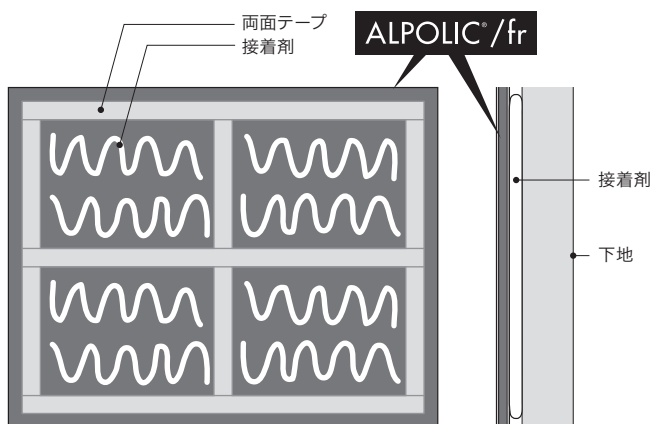
## ⚠️ 注意事項

- ・抗ウイルス加工は製品上の特定ウイルスを減少させます。
- ・全てのウイルス・菌への効果を保証するものではありません。
- ・病気の治療や予防を目的とするものではありません。
- ・本紙記載の試験結果は一例で、実際の使用環境で性能を保証するものではありません。
- ・製品表面に汚れなどが付着したままだと、抗ウイルス・抗菌・消臭効果が十分に発揮されませんので、適切な手入れを実施してください。
- ・清掃は、表面を強く擦ったり、硬い布などで拭いたりすると塗膜にキズが生じる恐れがありますので、柔らかい布で行ってください。
- ・消毒剤や水分が表面に付着した状態で放置すると、つやの変化等が生じる恐れがありますので、拭き取り乾燥を行ってください。
- ・消毒時に市販の消毒剤、クリーナーを用いる際は、目立たないところで変色等が生じないことを確認の上ご使用ください。
- ・設置環境や清掃状況によっては、外観や抗ウイルス性能・抗菌性能に影響を及ぼす恐れがあります。

## ■加工方法

加工	使用機械・治具等	備考
 切断	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鋸(金物用、木工用、プラスチック用)</li> <li>● 丸鋸、ランニングソー、ジグソー</li> <li>▲ スクエアシャー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化粧面擦り傷防止と保護シート剥がれ防止のため、化粧面を上にして切断して下さい。</li> <li>・切粉の除去を十分に行ってください。切断後の積み重ねによる圧こん、及び加工時の傷の原因になりますので、入念に除去して下さい。</li> <li>・切断面にバリが出ている場合は、使用環境に応じて適切に小口を処理してください。</li> <li>・アルポリック板や昇降盤テーブル上に切粉、異物が付着していると傷の原因になります。十分除去してから作業して下さい。</li> </ul>
 穴あけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハンドドリル</li> <li>● ボール盤</li> <li>● ホールソー</li> <li>▲ プレス(打抜き)</li> </ul>	プレス打抜きの場合ポンチとダイスのクリアランスは出来るだけ小さくと綺麗に仕上がります。(板厚×2%程度が適当です)
 接合	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リベット、ボルト、ビス</li> <li>● 接着剤、両面テープ</li> <li>● ジョイナー</li> </ul>	リベット等で接合を行う場合は、電食等を考慮し材質の選定を行ってください。 接着剤を使用する場合は、弾性の接着剤を用い、アルミニウムに有害なものの使用は避けてください。

## ■内装圧着貼りの施工方法例



### ■直貼り下地の例

好ましい下地 ※1	好ましくない下地
○ プラスターボード	× ALC、RC面
○ ケイカル板・フレキ板 ※2	× クロス面、化粧紙面
○ 軽量鉄骨材(コンロ廻り以外)	× 凹凸のある下地

※1 下地材の選定や構造の作成は、建築基準法等の法令・法規に適合したものをお選びください。  
 ※2 ケイカル板・フレキ板の場合は、市販のシーラーなどによる下地処理が必要になります。

### ■使用部材の例

使用テープ	使用接着剤	使用シーリング剤	
TMテープ	MPX-1	ボンド変性シリコンコーク	コニシ社
ボードテープ310	PM165	POSシール	セメダイン社
ZK-31, ZK-32	エコボンドSE-1	-	アイカ工業社

※圧着貼りをするときは接着剤と両面テープを併用して貼り付け・圧着してください。  
 その際、両面テープは仮留めとしてお使いいただき、接着剤は弾性の接着剤をお使いください。なお、ご紹介した施工方法は一例であり、工法自体を保証、限定するものではありません。この他にも各接着剤メーカー様の出されている工法もございます。  
 ※本工法による仕上げ面は、上表の副資材を使用した場合においても、多少のゆがみが認識される可能性があります。

## ■使用上・施工上の注意

⚠️ **アルポリック®の切断面は大変危険ですので、手を切る恐れがあります。保護手袋を使うなど取扱いはできるだけ慎重に行ってください。**  
**切断方法によってはアルポリック®の小口にバリが発生します。ご使用状況に応じて、小口のバリ取り等の安全対策の実施をお願い致します。**

- ・シルバー系、メタリックは、柄目・色目がありますので、縦横を統一してご使用ください。
- ・シルバー系を大量にご使用になる場合は、ロット間で色調差が発生する恐れがありますので、ご発注の際は弊社にご相談ください。
- ・アルポリック®の線膨張係数はアルミ単板とほぼ同等です。著しく温度変化が大きい環境下では、熱伸縮を考慮して適切に目地を取ってください。
- ・アルポリック®の熱変形温度はポリエチレン単体と比較して高く、約110℃前後です。そのため大きな力がかからず短時間であれば100℃程度の高温にも耐えられます。ただし、実用上、高温雰囲気でも長時間使用する場合は70℃以下でご使用ください。
- ・アルポリック®の面材はアルミのため、腐食のメカニズムはアルミ単板と同様に起こります。酸性やアルカリ性の物質(土やモルタル等)とは直接の接触を避けてご使用ください。
- ・アルポリック®の端部(こぐち)が、アルミニウムを侵す環境(特に海岸部等)では、注意してご使用ください。
- ・アルポリック®の面材は、アルミニウムであり、湿潤状態で異種金属と接触しますと電位差によって、電食が発生します。接合に使用するリベット・ボルト類は、電食等を考慮し、材質の選定を行ってください。
- ・表面の保護フィルムは直射日光・湿気により劣化し、糊残り等の問題をおこす恐れがありますので、乾燥した室内に保管するようにしてください。また施工完了後は速やかにがはしてください。
- ・保護フィルムの上から接着テープやマジックを使用すると、アルポリック®の表面にその跡がうつることがありますのでご注意ください。
- ・アルミニウム-プラスチック複合材ですので、割れにくい素材ですが、衝撃又は異物の挟み込みにより、打こん・へこみ・エッジの変形が発生する恐れがあります。運搬・保管・加工、および施工時には十分注意してください。
- ・アルポリック®塗装板は、その表面に付着したごみやほこりを適宜清掃し、除去することによりいつまでも美しい外観を保つ事が出来ます。
- ・クリーニングは、柔らかい布で、中性洗剤にて汚れを除去し水洗後乾拭きしてください。研磨剤クリーナーやスチールウールは使用しないでください。酸性やアルカリ洗剤および有機溶剤は使用しないでください。アルミの腐食、塗膜のハガレ、艶落ちの原因となります。
- ・アルポリック®に設備機器などによる荷重を負担させることは避けてください。



三菱ケミカルインフラテック株式会社

本社 〒100-8251 東京都千代田区丸の内1-1-1パレスビル tel.03-6748-7349 fax.03-6685-5479  
 北海道 〒060-0807 札幌市北区北七条西4-3-1新北道ビル tel.011-746-6241 fax.011-746-7427  
 中部 〒450-6419 名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビルヂング tel.052-565-3584 fax.052-564-0216  
 関西 〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-1-1明治安田生命大阪御堂筋ビル tel.06-6204-8470 fax.06-6204-8474  
 九州 〒812-0026 福岡市博多区上川端町12-20 ぶくぎん博多ビル tel.092-262-9405 fax.092-262-5114

www.alpolic.jp